

平成25年度(第57期)決算説明資料

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)



平成26年6月23日

<目次>

1. 決算の概況

(1) 損益計算書、貸借対照表の概略	2
(2) 事業の取り組み内容について	3
(3) 売上高および営業利益の推移	4
(4) 品目別売上高の推移	5
(5) 収益関連指標	6
(6) 総資産・純資産	7
(7) 配当政策	8
(8) 利益配分の方針	8

2. 今後の取り組みについて

(1) 経営環境	9
(2) 諸施策	10
(3) 業績の見通し	11

1. 決算の概況

(1) 損益計算書、貸借対照表の概略

(単位:百万円)

	連 結			個 別		
	H25/3期	H26/3期	前期比(%)	H25/3期	H26/3期	前期比(%)
売 上 高	11,362	12,277	108.1	10,239	10,608	103.6
営 業 利 益	31	100	322.6	144	10	6.9
経 常 利 益	143	177	123.8	242	124	51.2
当 期 純 利 益	117	102	87.2	194	103	53.1

(単位:百万円)

	連 結			個 別		
	H25/3期	H26/3期	増減	H25/3期	H26/3期	増減
資 産	11,368	11,828	+460	10,344	10,672	+328
負 債	5,453	5,715	+262	4,732	4,991	+259
純 資 産	5,915	6,113	+198	5,612	5,680	+68
総 資 産	11,368	11,828	+460	10,344	10,672	+328

2

(2) 事業の取り組み内容について

・ 営業

- ・ 当社の強みでもある高効率モータや低消費電力ポンプの販売促進を行う。
- ・ マイクロバブル発生装置などのユニット製品の拡販を行う。

・ 製造、購買

- ・ 新生産管理システムの構築により、生産効率を高めていく。
- ・ 鉄鋼材や非鉄金属、原油価格が大きく変動する中で、グローバルな部材の調達や国内外の生産拠点の最適化を行い、トータルコストの削減を図る。

・ 研究開発

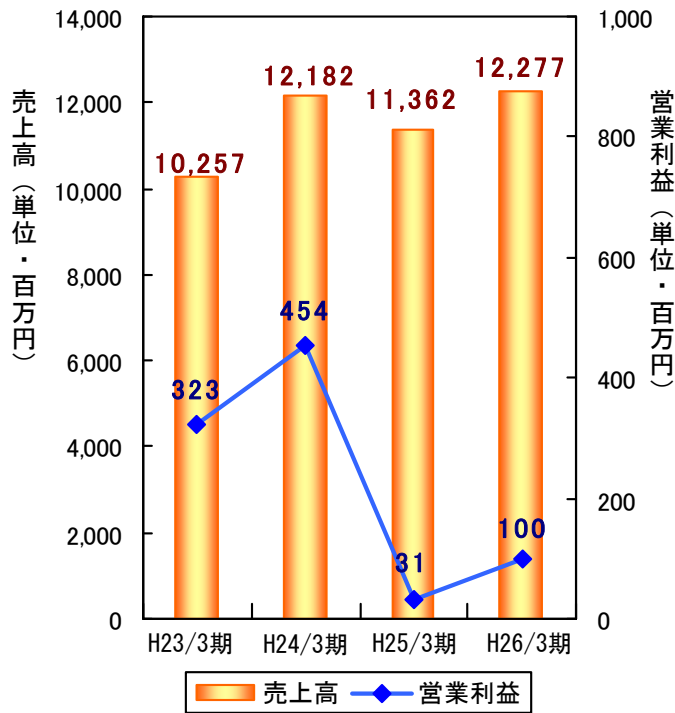
- ・ 環境にやさしい省エネ、低騒音の製品を開発
(IE3(プレミアム効率)対応の高効率モータ 他)
- ・ 新規用途に対応した製品開発(建設機械、医療器具 他)

3

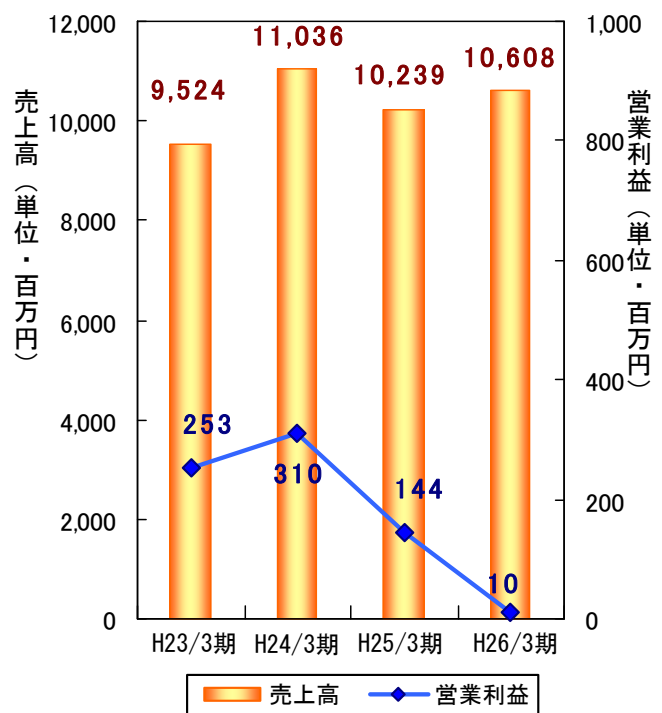
(3) 売上高および営業利益の推移

- ・売上高において、上半期は各業界とも低調な受注状況であったが、下期に入り低調であった半導体設備業界の市場が回復するとともに、他の業界においても消費増税前の受注増加により、前期と比較して増加となる。
- ・営業利益においては、売上高の増加要因があったものの、為替の影響で収益性が厳しくなり、個別では前期と比較しても減益となる。

【連結】



【個別】

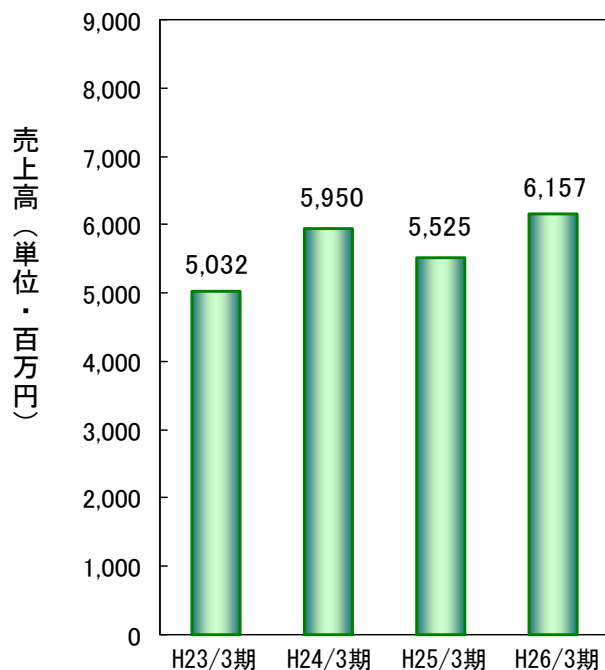


4

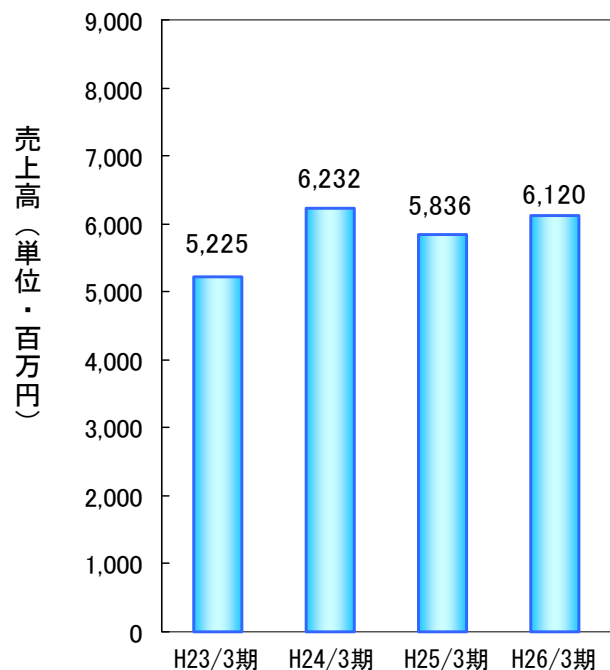
(4) 品目別売上高の推移(連結)

- ・モータでは、空調用のDCモータやポンプ用モータの受注が増加となる。
- ・ポンプでは、給水用ポンプの受注は低調であったが、半導体製造装置用ポンプなどの受注が増加する。

【モータ】



【ポンプ】



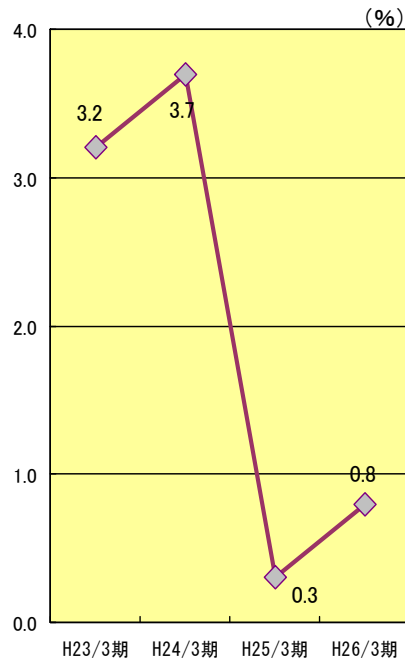
5

(5) 収益関連指標(連結)

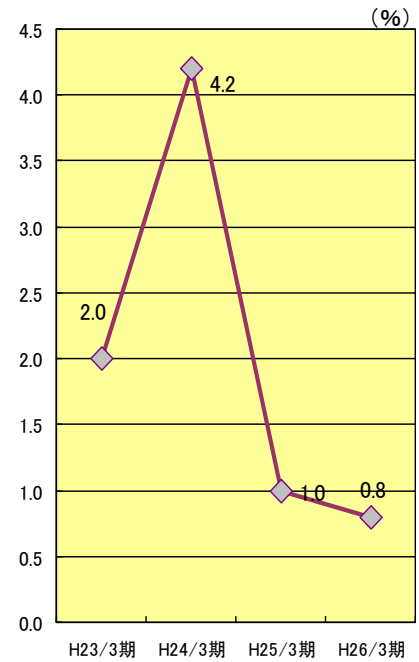
売上総利益(率)



営業利益(率)



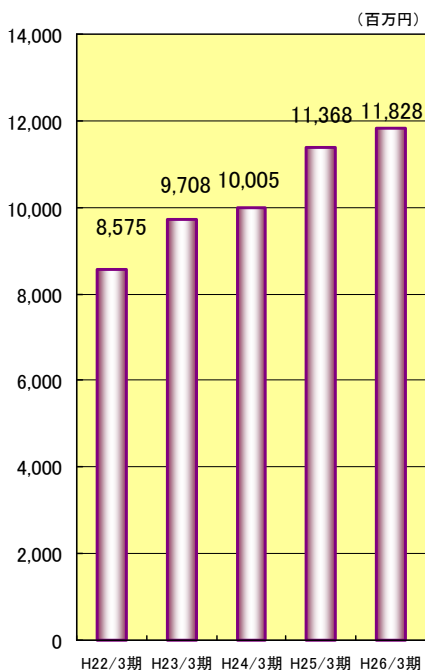
当期純利益(率)



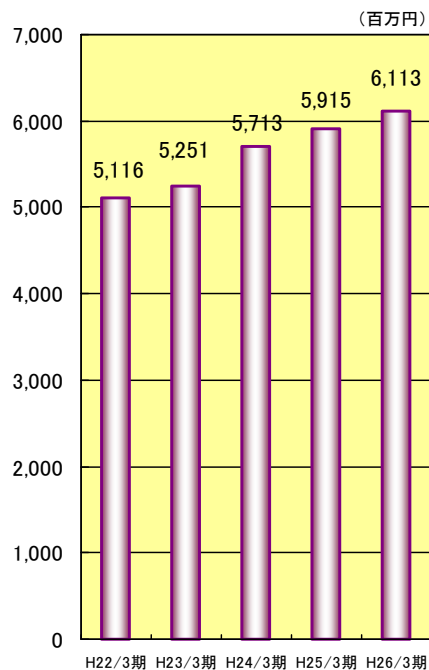
(6) 総資産・純資産(連結)

- ・ 資産は主に売上高の増加により売掛金が増加。
- ・ 負債は主に支払手形及び買掛金が減少。
- ・ 純資産は利益剰余金が増加。

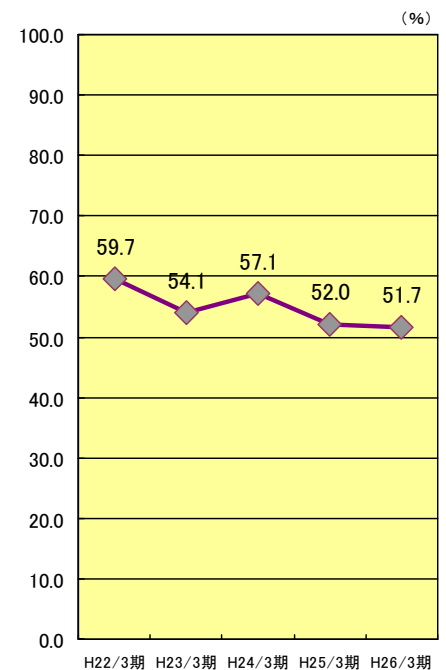
総資産



純資産



自己資本比率

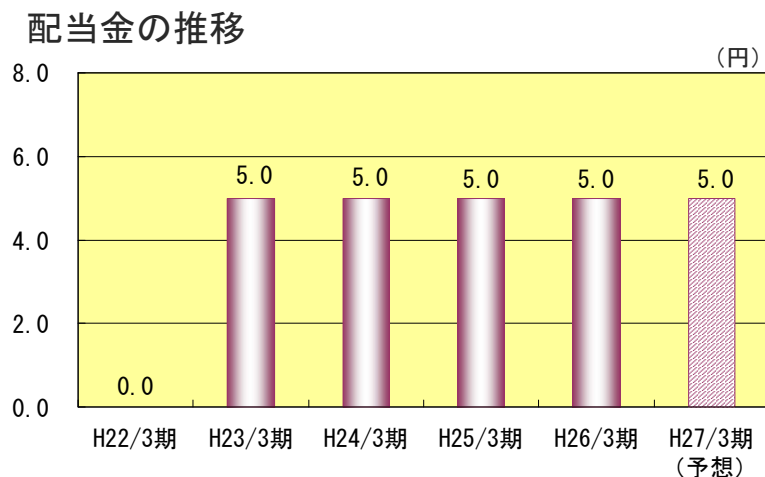


(7) 配当政策

利益配分については、株主および一般投資家への企業責任の重大性を十分に認識し、業績の伸長を勘案し極力配当性向を高め、かつ維持しながら弾力的な利益還元を行うとともに収益力の向上を目指し、内部留保金についても有効投資に活用し、収益向上に取り組んでまいります。

(8) 利益配分の方針

平成26年3月期の配当については、1株につき期末配当金5円00銭とさせていただきます。次期の配当については、現状の業績等を考慮して1株につき年5円00銭を予定しております。今後更に、業績を向上させ安定的な配当を行うように努めてまいります。



8

2. 今後の取り組みについて

(1) 経営環境

◆ 経済状況

- ・ 政府の経済対策や日銀の金融政策の効果を背景に、景気回復の期待がもたれるが、円安の影響による輸入燃料や原材料価格の高騰が消費者物価を押し上げるとともに、新興国の成長鈍化により輸出が伸び悩むなど、景気は依然として先行き不透明な状況で推移するものと考えられる。

◆ 業界動向

- ・ 家電業界では、円安による輸出増加の期待がもたれるが、世界経済の低迷により大幅な需要増加は見込まれない。
- ・ 工作機械装置業界では、低調であった企業の設備投資意欲が明るさを戻しつつあり、今後の受注回復が期待される。
- ・ 住宅設備関連業界では、被災地での復興需要が考えられるが、その回復速度は遅く緩やかな状況で推移するものと考えられる。
- ・ 半導体製造設備業界では、昨年後半から回復基調となり、明るい兆しが見られる。

9

(2) 諸施策

・ 営業

- ・ 当社グループの優位性がある、高効率で低消費電力のモータやポンプを中心に拡販を進めていく。
- ・ グローバルな顧客創出活動と、新規用途の提案で新市場を開拓していく。

・ 製造、購買

- ・ 新生産管理システムの運用により、短納期生産体制の確立を図り、顧客ニーズに応える。
- ・ 部材の共通化を進めるとともに、グローバルな部品調達によりコストダウンを図る。

・ 研究開発

- ・ 低消費電力のDC(直流)モータおよびポンプのバリエーションを増やし、市場ニーズや新たな用途に応える。
- ・ 国際規格(IE2、IE3)に適合した高効率モータのシリーズ化を進め、既存市場での優位性を高める。

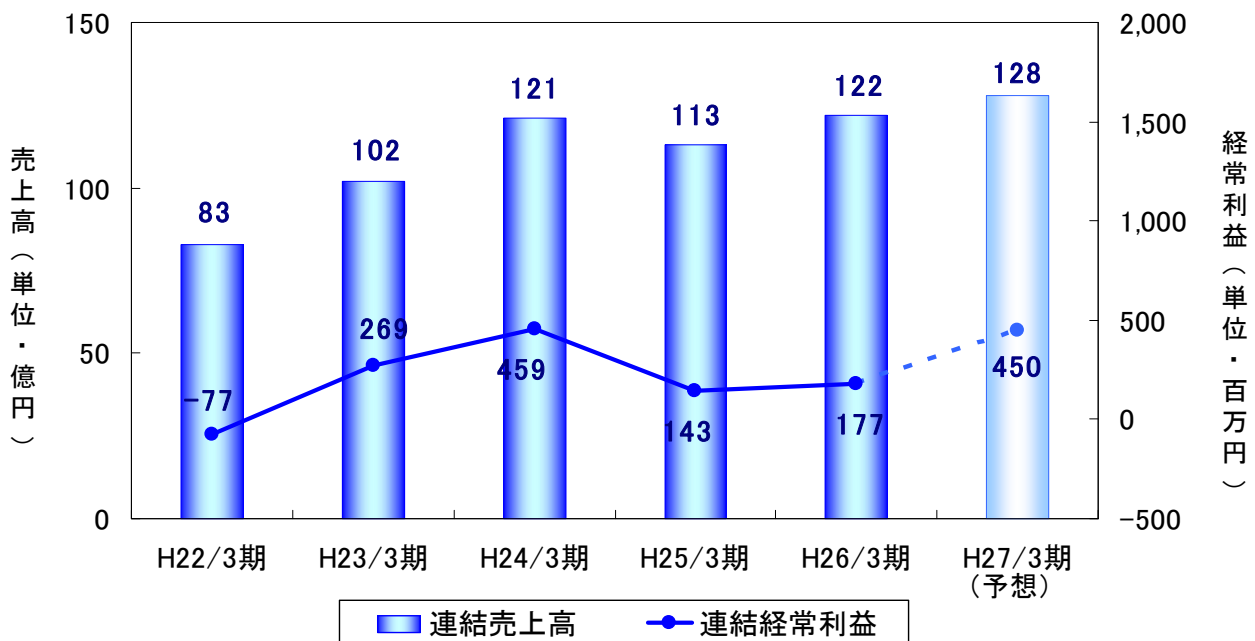
・ 品質

- ・ 製造技術を極め、均一したクオリティの製品を提供する。
- ・ 受入検査の厳格化により組立部門への不適合部品の混入を防ぎ、品質効率を高めていく。

10

(3) 業績の見通し(連結)

[売上高・経常利益のグラフ]



連結：売上高については、消費増税の影響も少なく、トップランナー規制に向けた高効率モータの需要増加や海外市場の拡大により増収を見込む。
利益面については、円安による輸入品コストアップを販売価格に転嫁。またコストダウンの推進により増益を見込む。

11

おことわり

この資料に掲載しております将来の計画や予想数値については、現在（平成26年6月）入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであり、実績の業績などは、今後の様々な条件・要素によりここに掲載する内容と異なる場合がございます。

なお、この資料は、その実績を確約および保証するものではありませんのでご了承ください。

お問い合わせ先

三相電機株式会社
統括管理部 経理課 経営企画係

〒671-2288

兵庫県姫路市青山北一丁目1番1号

TEL 079-266-1200

FAX 079-266-1206

E-mail sanso@sanso-elec.co.jp